

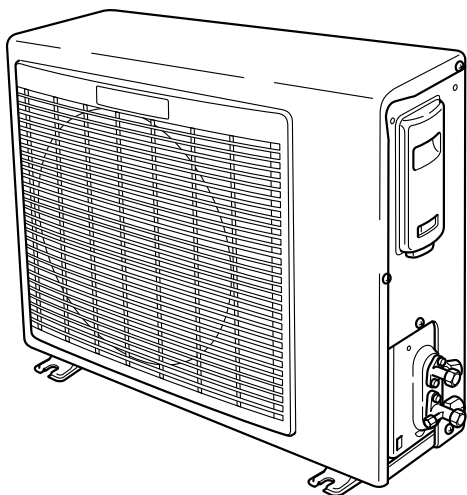
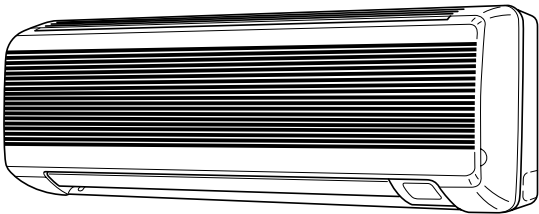
ルームエアコン

SAP-V22J SAP-CV22J

SAP-V25J SAP-CV25J

2001.10

インバーター 冷・暖房兼用



ルームエアコン

SAP-V22J SAP-CV22J
SAP-V25J SAP-CV25J
SAP-V28J SAP-CV28J
SAP-GK22J SAP-CGK22J
SAP-GK25J SAP-CGK25J
SAP-GK28J SAP-CGK28J
SAP-GK32J SAP-CGK32J

2004.8

対象資料

資料番号	機種名	該当ページ
SMEA07880-00	SAP-V22J, V25J	20
SMEA07779-00	SAP-V28J	18
SMEA07889-00	SAP-GK22J, GK25J	20
SMEA07777-00	SAP-GK28J, GK32J	21

訂正内容

機能説明の除霜検知、復帰の項目に誤りがありましたので訂正してお使いください。

暖房運転	四方弁	(誤) OFF	(正) ON
反転除霜運転	四方弁	(誤) ON	(正) OFF
除霜復帰	四方弁	(誤) OFF	(正) ON

修理技術者の安全確保

修理技術者および修理後の製品の安全確保のための注意事項

安全上のご注意

修理作業の前に、この「安全上のご注意」をよく読んでください。
ここに示した注意事項は、「△ 警告」、「△ 注意」に区分してありますが、誤った作業をしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいものを特に「△ 警告」の欄に記載しています。しかし、「△ 注意」の欄に記載した事項でも、状況によって重大な結果に結び付く可能性があり、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

絵表示について

記号は、注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意事項が描かれています。
記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。
記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。
図の中や近傍に具体的な指示内容が描かれています。

修理作業後は、試運転を行い、異常が無いが確認するとともに、お客様に使用上の注意事項を説明してください。

1. 修理時の注意事項

警告

分解修理を行うとき



分解修理を行うときは、必ずコンセントからプラグを抜いてください。感電の原因になります。
電源を必要とする修理や回路の点検等を行う場合は、充電部に接触しないように十分注意してください。

冷媒ガスが噴出した場合



作業中に冷媒ガスが噴出した場合は、冷媒ガスに触れないでください。凍傷の原因になります。

圧縮機の溶接部をはずすとき

圧縮機の吸入・吐出パイプの溶接部をはずすときは、風通しのよい所で冷媒ガスを十分抜いてから行ってください。
残留ガスがあると冷媒や冷凍機油が噴出し、ケガの原因になります。

冷媒ガスが漏れた場合



作業中に冷媒ガスが漏れた場合は、換気をしてください。
冷媒ガスが火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。

高電圧注意



室外ユニット電装部分は、昇圧コンデンサーを十分放電させてから修理作業を行ってください。感電の原因になります。

電源プラグで停止をしない



電源プラグの抜き差しによりエアコンの運転や停止をしないでください。感電や火災の原因になります。

注意

濡れた手でさわらない



濡れた手で電装部分の修理作業を行わないでください。感電の原因になることがあります。

エアコンを水洗いしない



エアコンを水洗いしないでください。感電の原因になることがあります。

アースをする



湿気、水気の多いところでの修理作業は、必ずアースを行ってください。感電の原因になることがあります。

掃除のときはプラグを抜く



掃除をするときは必ずスイッチを「停止」にし、プラグも抜いてください。
内部でファンが高速回転してありますので、ケガの原因になることがあります。

傾けない



取りはずすときは、傾けないように注意してください。
内部に溜まっている水が落下して家具等を濡らす原因になることがあります。

高温になっていないか確認

冷凍サイクル部分が高温になっていないか確認してから修理作業を行ってください。ヤケドの原因になることがあります。

溶接は換気のとよところ



溶接機は、換気のとよところで使用してください。密閉した部屋で使用すると、酸素不足になることがあります。

2. 修理後の製品に係わる注意事項

警告

指定の部品、適切な工具で

修理は必ず該当機種のサービス部品表に記載している部品を使用し、適切な工具で行ってください。なお、製品の改造は絶対に行わないでください。感電、火災の原因になります。

重量に耐えるところへ

移設の場合は、重量に耐えるところに確実に行ってください。
強度不足や取り付けが不完全な場合は、ユニットの落下によるケガの原因になります。

標準据付枠を使用する（一体形）

据え付けは、必ず付属の「標準据付枠」を使って正しく据え付けてください。据付枠や、据え付け方法に不備があると、ユニット落下によるケガの原因になります。

確実に固定（一体形）

窓枠に取り付けた据付枠に、ユニットを取り付けて確実に固定してください。ユニットの固定が不完全な場合は、ユニット落下によるケガの原因になります。

専用回路を使用する

電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および設置工事説明書に従って施行し、必ず専用回路を使用してください。
電気回路の容量不足や施行不備があると、感電、火災の原因になります。

所定のケーブルで固定

室内外ユニット間の配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外方が伝わらないように、確実に固定してください。
接続固定が不完全な場合は、発熱、火災の原因になります。

カバーを確実に取り付け

室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取り付けてください。
カバーの取り付けが不完全な場合は、端子接続部の感電、発熱、火災の原因になります。

電源コードは加工しない



電源コードは、破損したり、加工しないでください。感電、火災の原因になります。
電源コードは、重いものを乗せたり、加熱したり、引っばったりすると、破損の原因になります。

指定冷媒以外を混入させない

冷凍サイクル内に指定冷媒以外の空気等を混入させないでください。空気等が混入すると、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破損、ケガ等の原因になります。

漏れ箇所を確実に修理する



冷媒ガスが漏れている場合には、単に追加チャージするだけでなく、漏れ箇所を発見し、確実に修理してください。その後で冷媒チャージを行い、漏れが無いことを確認してください。もし、漏れ箇所が発見できず修理を中断する場合は、ボンブダウンをしてサービスバルブを締めてください。冷媒ガスそのものは無害ですが、ファンヒーター、ストーブ、コンロ等の火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。

電池を管理する

リモコンに使用している電池を取りはずした場合は、幼児等が電池を誤って飲み込まないように管理してください。
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

注意

漏電ブレーカーを取り付ける

設置場所によっては、漏電ブレーカーの取り付けが必要です。漏電ブレーカーが取り付けられていないと、感電の原因になることがあります。

可燃性ガスに注意



可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置はしないでください。
万一ガスが漏れて、ユニットの周囲に溜まると、発火の原因になることがあります。

据付枠のバックリングは確実に

（一体形）据付枠のバックリングやシールは確実に行ってください。不確実な場合は、室内に浸水し家財等を濡らす原因になることがあります。

3. 修理後の点検事項

警告

電源プラグは確実に



電源プラグは、ホコリの付着やがたつきがないか確認し、根元まで確実に差し込んでください。ホコリが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。

劣化した電源コードは交換する



キズ、劣化のある電源コードやリード線は、必ず交換してください。感電、発熱、火災の原因になります。

タコ足配線をしない



電源コードは、途中で接続したり、延長コードの使用、他の電気器具とのタコ足配線をしないでください。感電、発熱、火災の原因になります。

注意

配線、接続を正常に

部品の取り付け位置や配線の状態、ハンダ付けや圧着端子等の接続状態が正常か確認してください。不正常な場合は、発熱、火災の原因になることがあります。

弱くなった据付台は交換する

据付台、取付枠が腐食等で弱くなっている場合は、交換してください。ユニット落下によるケガの原因になることがあります。

アースを点検する



アースの状態を点検し、不完全なものは手直ししてください。アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。

修理後、絶縁抵抗を測る

修理後、必ず絶縁抵抗を測り、1M 以上あることを確認してください。絶縁不良があると、感電の原因になることがあります。

修理後、排水確認をする

修理後、必ず室内ユニットの排水確認をしてください。不確実な場合は、屋内に浸水し、家財等を濡らす原因になることがあります。

仕様

1. 製品仕様

SAP-V22J + CV22J

機能	冷房・ヒートポンプ暖房兼用	安全規格認証	JET
タイプ	インバータ(冷暖・ドライ)(壁掛)		

形名	室内ユニット		室外ユニット	
		シルキーホワイト SAP-V22J(W)		SAP-CV22J
製品コード	1-852-077-92		1-852-077-59	
電源	単相100V			
電源コード	付(2.0m) ㉑ 125V 15A		-	
電熱装置	-		-	
熱交換器	プレートフィン		プレートフィン	
送風機	ファン	クロスフロー(95)	プロペラ(370)	
	ファンモーター	単相 100V:14W	単相 100V:17W	
	送風切換	自動・強・中・弱	1速	
過負荷保護装置	-		CT(電流ビークット) 過熱防止サーモ	
外装色(ワレ記号)	5.5Y 9.0/0.6		8.8RP 4.9/0.3	
本体表示寸法(HxWxD)	250 X 790 X 174 mm		530 X 680 X 225 mm	
製品質量	8 kg		28 kg	
ドレン口	外径 16(塩ビ管)		外径 18(塩ビ管)	

商品特徴	
----- 快適機能 -----	自動 防カビフィルター 抗菌リモコン 快眠 快適予約運転 ニオイカット 健康サイン 体感センサー
----- 便利機能 -----	アンペア 丸洗いパネル 自己診断 1Hタイマー ワンタッチ・エコ お好み温度メモリー
----- 送風機能 -----	オートフラップ
----- システム -----	左右ドレン付替 アドレスSW(リモコン) JEMA標準HA端子-A

性能		冷房性能		暖房性能		
能力	定格/中間	2.2(0.7~3.0) / 1.1 kW		3.2(0.7~3.9) / 1.6 kW		
	暖房低温	-		2.8 kW		
運転電流	単体	室内	0.44 A	0.46 A		
		室外	8.96 A	11.34 A		
	総合	9.4(最大:14.4) A		11.8(最大:14.1) A		
消費電力	単体	室内	27 W	32 W		
		室外	823 W	1,038 W		
	総合	定格/中間	850(260~1,300) / 370 W		1,070(250~1,280) / 400 W	
		暖房低温	-		1,130 W	
力率		90 %		91 %		
I _{レキ} -消費効率		2.59		冷暖平均 2.79	2.99	
風量	室内	強:420 弱:270 m ³ /h		強:480 弱:300 m ³ /h		
	室外	1,370 m ³ /h		1,370 m ³ /h		
騒音	定格	室内	強:37 中:33 弱:28 微弱:- dB	強:39 中:35 弱:29 微弱:- dB		
		室外	44 dB		45 dB	
	静音	室内	強:33 中:28 弱:27 微弱:- dB	強:35 中:29 弱:28 微弱:- dB		
		室外	-		-	
除湿量		1.3 l/h		-		

本体付属品	
----- 室内ユニット -----	リモコン取付具(1) 乾電池(単4形)(2) ワイヤレスリモコン: RCS-FB1C
----- 室外ユニット -----	ドレン用エルボ(1) キャップ(2)
取付可能機器	
----- 室内ユニット -----	ブレーカーおちナイス SHA-BC1 空清モト: STK-VRF4 空清フィルター: STK-F4 空清フィルター: STK-F4A 縦機(洋室): STK-TA1 縦機(和室): STK-TA2 フレコドレン: SHA-TC1
----- 室外ユニット -----	ドレン架台: STK-DC2040A ドレン架台: STK-DC2040 架台: STK-CS2032 架台: STK-C1828 架台: STK-C2050 日除け: STK-Y2040B 日除け: STK-YS2040 天吊架台: STK-T2040 壁面架台: STK-KS2050 壁面架台: STK-K5050 2段架台: STK-2C2050 高置架台: STK-TC2050

電源方式	一電源(室内)	コンプコード	80656980	
始動電流	11.8 A	種類/出力	シングルロータリー / 600W	
操作回路電圧	AC 100V	オイル封入量	350 cc	
ブレーカ容量	15 A	冷媒種類・封入量	(R-22) 570g	
停止時消費電力	2.8 W	冷媒制御方式	キャピラリチューブ	
ユニット間配線	VVF(1.6)3芯	面積積	冷房	鉄筋南向洋室 15 m ² (9畳)
パワーセレクト	15・8 A		木造南向和室 10 m ² (6畳)	
フラップ	DC1モーター: 1枚		暖房	鉄筋南向洋室 15 m ² (9畳)
ブレード	手動	木造南向和室 12 m ² (7畳)	配管寸法	細管側 6.35(1/4")
センサー	温度		太管側 9.52(3/8")	
タイマー	入・切タイマー(12H)		最大長/ヤージズ/高低差 15 / 7 / 8 m	
運転スイッチ	ワイヤレスリモコン			

電源配線巨長

電線太さ	1.6 mm	巨長 6 m以下
	2.0 mm	巨長 9 m以下
	2.6 mm	巨長 15 m以下
	アース線	1.6 mm

期間消費電力量

冷房期間消費電力量	376 kWh
暖房期間消費電力量	1,039 kWh
期間消費電力量	1,415 kWh

備考	
----	--

SAP-V25J + CV25J

機能	冷房・ヒートポンプ暖房兼用	安全規格認証	JET
タイプ	インバータ(冷暖・ドライ)(壁掛)		

形名	室内ユニット		室外ユニット	
		シルキーホワイト SAP-V25J(W)		SAP-CV25J
製品コード	1-852-077-90		1-852-077-57	
電源	単相100V			
電源コード	付(2.0m) ㊦ 125V 15A		-	
電熱装置	-		-	
熱交換器	プレートフィン		プレートフィン	
送風機	ファン	クロスフロー(95)	プロベラ(370)	
	ファンモーター	単相 100V:14W	単相 100V:17W	
	送風切換	自動・強・中・弱	1速	
過負荷保護装置	-		CT(電流比-カット) 過熱防止サーモ	
外装色(マシ記号)	5.5Y 9.0/0.6		8.8RP 4.9/0.3	
本体表示寸法(HxWxD)	250 X 790 X 174 mm		530 X 680 X 225 mm	
製品質量	8 kg		28 kg	
ドレン口	外径 16(塩ビ管)		外径 18(塩ビ管)	

商品特徴
----- 快適機能 ----- 防カビフィルター 体感センサー 自動 抗菌リモコン 快眠 快適予約運転 ニオイカット 健康サイン
----- 便利機能 ----- ワンタッチ・エコ アンペア 丸洗いパネル 自己診断 1Hタイマー お好み温度メモリー
----- 送風機能 ----- オートフラップ
----- システム ----- J E M A 標準 H A 端子 - A 左右ドレン付替 アドレス W (リモコン)

性能	冷房性能		暖房性能	
能力	定格 / 中間	2.5(0.7 ~ 3.2) / 1.2 kW	3.4(0.7 ~ 4.0) / 1.7 kW	
	暖房低温	-	2.9 kW	
運転電流	単体	室内 0.44 A 室外 10.76 A	0.46 A 11.94 A	
	総合	11.2(最大:14.7) A	12.4(最大:14.2) A	
	消費電力	室内 27 W 室外 983 W	32 W 1,108 W	
力率	総合 定格 / 中間	1,010(260 ~ 1,320) / 380 W	1,140(250 ~ 1,310) / 450 W	
	暖房低温	-	1,160 W	
率	90 %		92 %	
エネルギー消費効率	2.48		冷暖平均 2.73	2.98
風量	室内	強:450 弱:300 m³/h	強:510 弱:330 m³/h	
	室外	1,370 m³/h	1,370 m³/h	
騒音	定格	室内 強:38 中:34 弱:29 微弱: - dB 室外 44 dB	強:40 中:36 弱:30 微弱: - dB 45 dB	
	静音	室内	強:34 中:29 弱:28 微弱: - dB	
		室外	-	
	除湿量	1.4 ㊦/h		-

本体付属品
----- 室内ユニット ----- リモコン取付具(1) 乾電池(単4形)(2) ワイヤレスリモコン: RCS-FB1C
----- 室外ユニット ----- ドレン用エルボ(1) キャップ(2)

取付可能機器
----- 室内ユニット ----- ブレードカーおちナイス SHA-BC1 空清セット: STK-VRF4 空清フィルター: STK-F4 空清フィルター: STK-F4A 縦棧(洋室): STK-TA1 縦棧(和室): STK-TA2 フレコドレン: SHA-TC1

電源方式	一電源(室内)
始動電流	12.8 A
操作回路電圧	AC 100V
ブレーカ容量	15 A
停止時消費電力	2.8 W
ユニット間配線	VVF(1.6)3芯
パワーセレクト	15・8 A
フラップ	DC1モーター: 1枚
ブレード	手動
センサー	温度
タイマー	入・切タイマー(1.2H)
運転スイッチ	ワイヤレスリモコン

コンプ	コード	80656980
	種類 / 出力	シングルロータリー / 650W
オイル	封入量	350 cc
	冷媒種類・封入量	(R-22) 630g
冷媒	制御方式	キャピラリチューブ
	鉄筋南向洋室	17 m²(10 畳)
木造南向和室	11 m²(7 畳)	
	鉄筋南向洋室	15 m²(9 畳)
木造南向和室	12 m²(7 畳)	
	細管側	6.35(1/4")
太管側	9.52(3/8")	
配管寸法	最大長/チャージレ/高低差	15 / 7 / 8 m

----- 室外ユニット ----- ドレン架台: STK-DC2040A ドレン架台: STK-DC2040 架台: STK-CS2032 架台: STK-C1828 架台: STK-C2050 日除け: STK-Y2040B 日除け: STK-YS2040 天吊架台: STK-T2040 壁面架台: STK-KS2050 壁面架台: STK-K5050 2段架台: STK-2C2050 高置架台: STK-TC2050

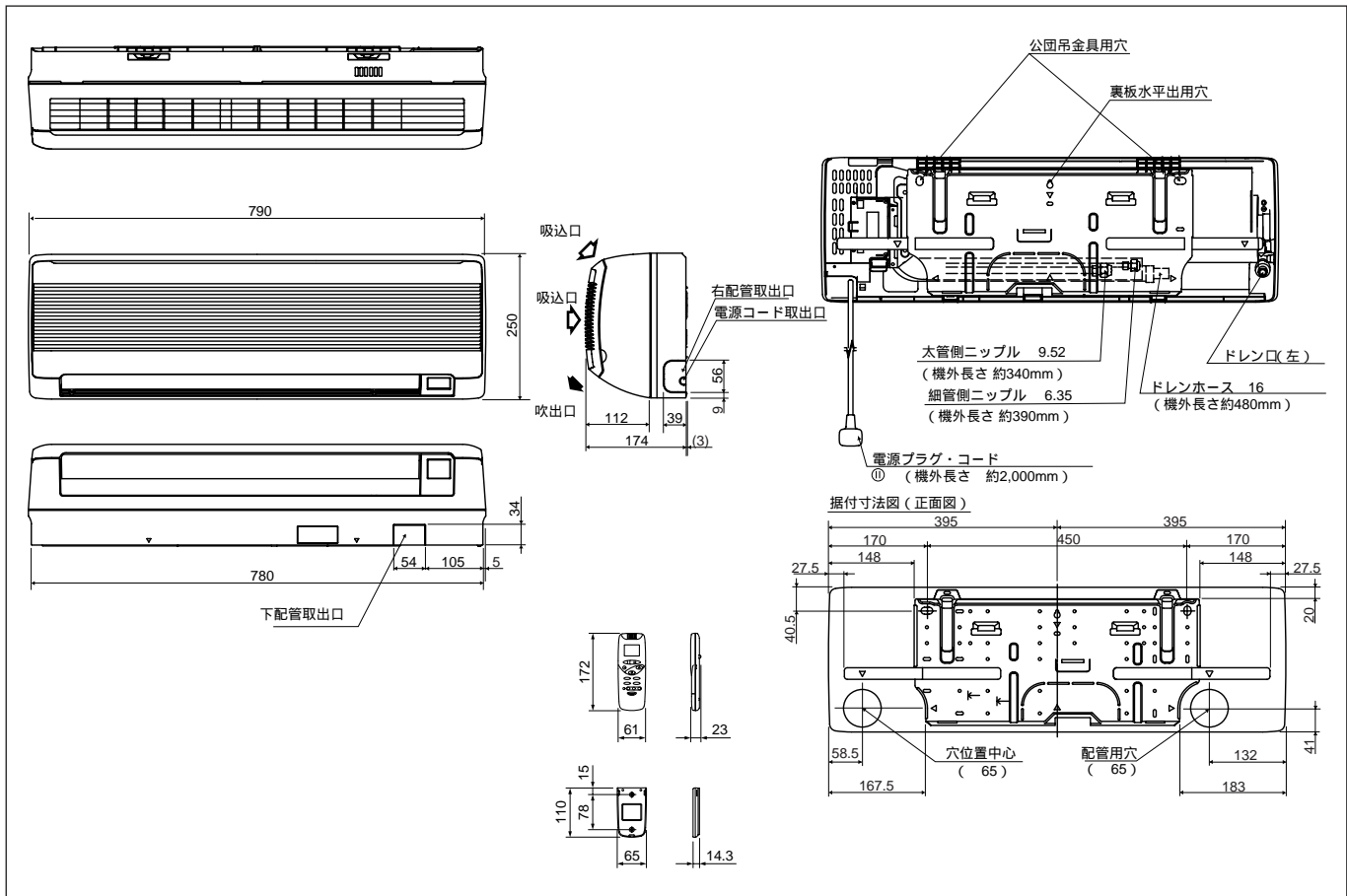
電源配線径長			
電線太さ	1.6 mm	径長	5 m以下
	2.0 mm	径長	9 m以下
	2.6 mm	径長	1.5 m以下
	アース線	1.6 mm	

期間消費電力量	
冷房期間消費電力量	412 kWh
暖房期間消費電力量	1,251 kWh
期間消費電力量	1,663 kWh

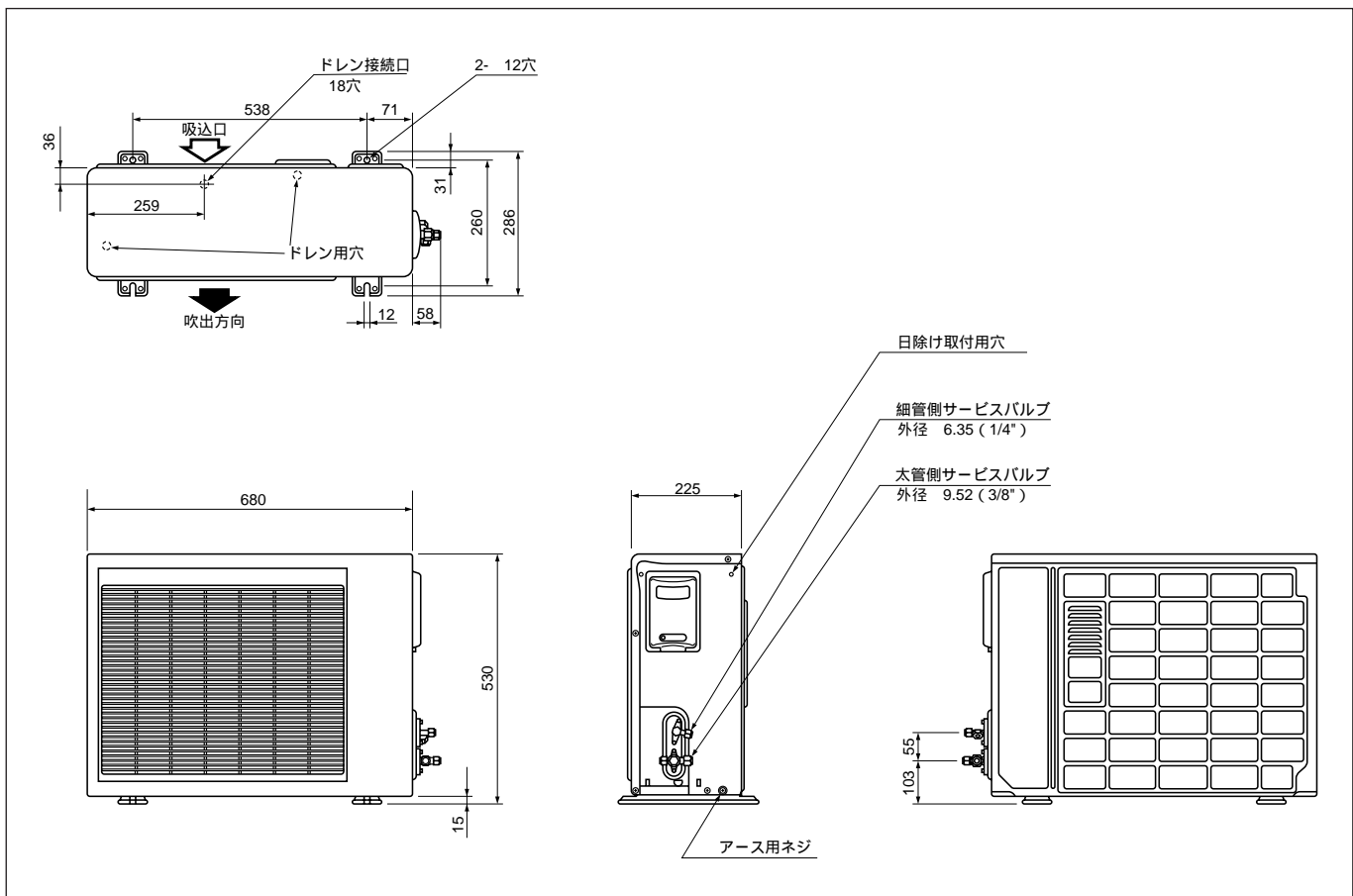
備考	
----	--

2. 外形寸法図

SAP-V22J, V25J



SAP-CV22J, CV25J

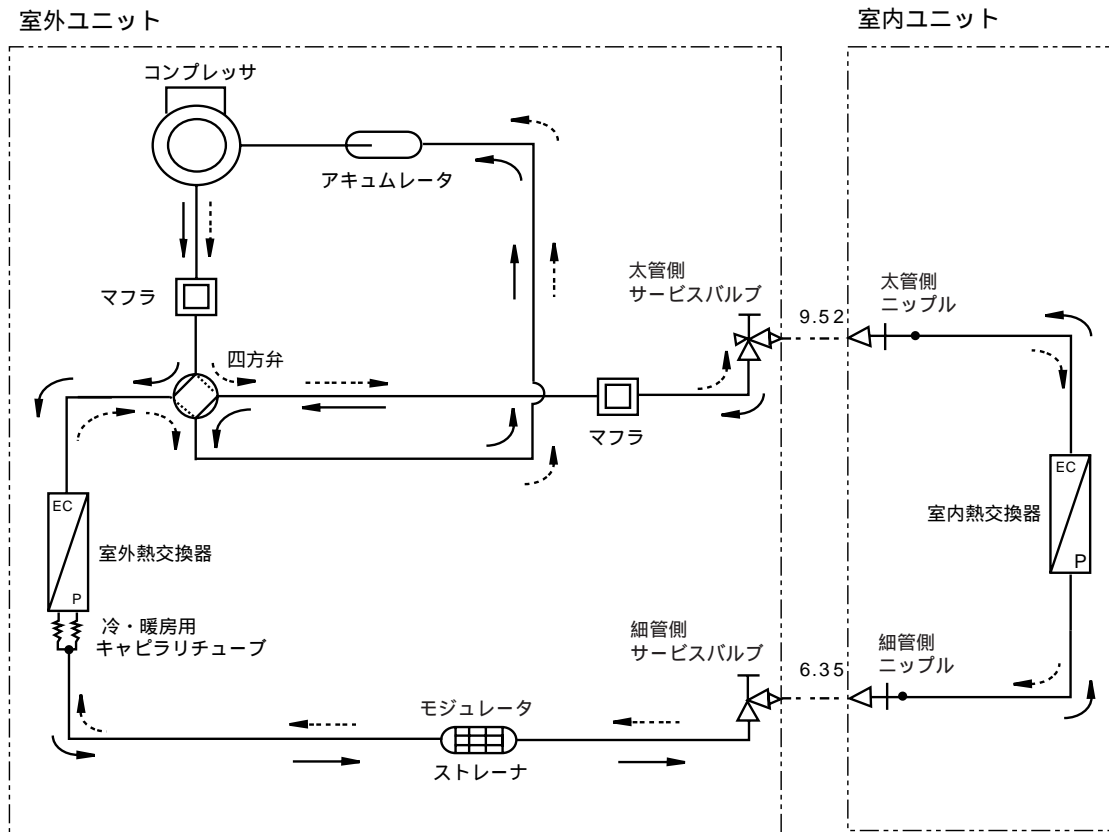


3. 冷媒配管系統図

SAP-V22J, CV22J

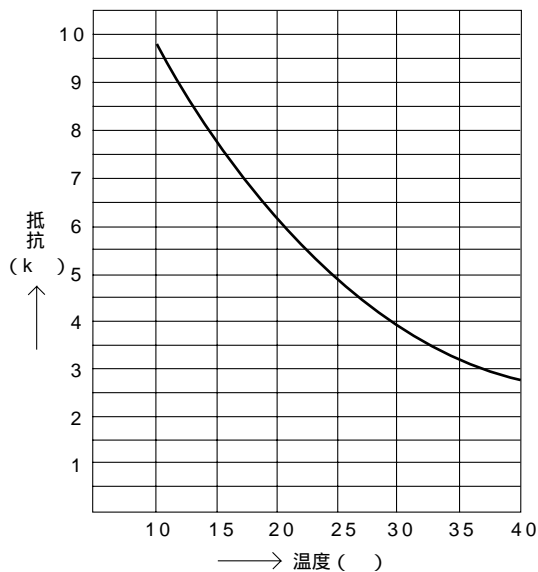
SAP-V25J, CV25J

—▶ 冷房時（除霜中）
 - - -▶ 暖房時



4. 主要部品仕様

室内温度センサー



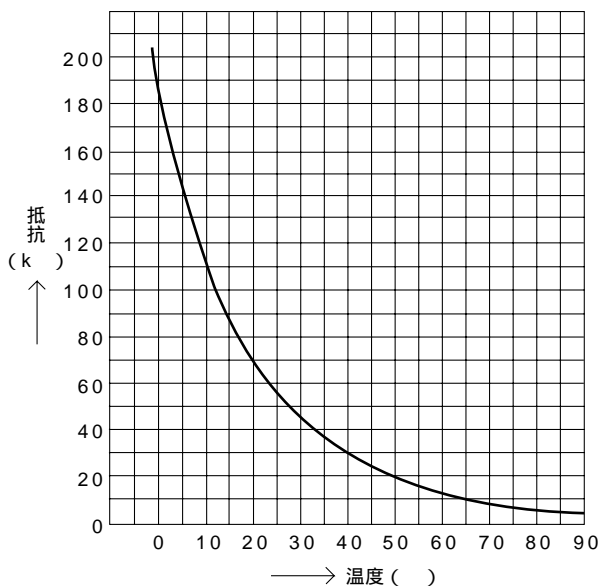
SAP-V22J, V25J

部品名コード	ファンモータ 5250000084700
型名	1BH - 884 - 012
巻線抵抗 ()	青 - 茶 36.7 青 - 赤 74.9

SAP-CV22J, CV25J

部品名コード	コンプレッサ 80656980
型名	C - 1RV58H0Q
巻線抵抗 ()	R - S 1.950 S - T 1.997 T - R 1.855

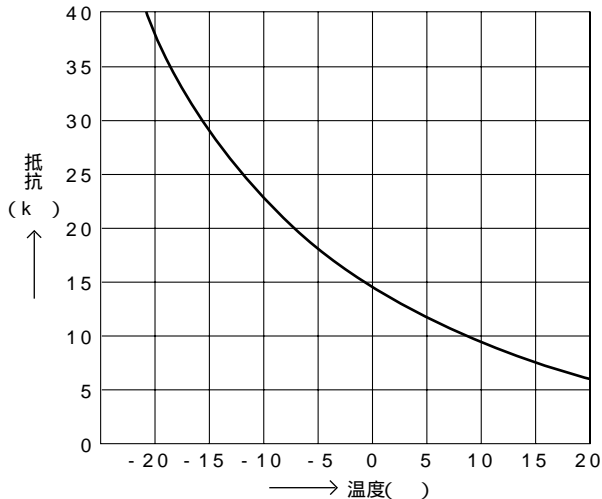
室内熱交温度センサー
コンプ温度センサー



SAP-CV22J, CV25J



部品名コード	ファンモータ 5250000085700
型名	UE6 - 21AH - C
巻線抵抗 ()	青 - 茶 60.97 青 - 桃 51.77

室外温度センサー
室外熱交温度センサー











安全上のご注意











安全に関する重要な内容です。よくお読みいただき、必ずお守りください。


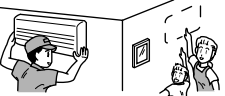



 警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいもの。
 注意	誤った取り扱いをしたときに、傷害を負う危険または物的損害に結びつく可能性があるもの。

お守りいただく内容の種類を、つぎの絵表示で区分し、説明しています。

してはいけない「禁止」事項		一般的な禁止		ぬれ手禁止		水ぬれ禁止	
していただく「実施」事項		必ず行う		電源プラグを抜く		アースを接続する	

 警告		
<p>吹出口・吸込口に指や棒などを入れない</p> <p>内部でファンが高速回転しているため、ケガの原因になります。また、室外ユニットのフィンで手を切る可能性があります。とくに小さなお子さまにはご注意ください。</p> 	<p>電源プラグで停止をしない</p> <p>感電・火災の原因になります。</p> 	
<p>エアコンが冷えない、暖まらない場合は、冷媒の漏れが原因のひとつとして考えられますので、お買いあげの販売店にご相談ください。冷媒の追加を伴う修理の場合は、修理の内容をサービスマンに確認してください。エアコンに使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロ等の火気に触れると有害な生成物が発生する原因になります。</p>	<p>電源プラグのホコリはときどきふきとる</p> <p>長時間放置するとホコリがたまり、発火などの原因になります。</p>	
<p>電源プラグの差し込みは確実に</p> <p>電源プラグはホコリが付着していないか確認し、がたつきのないように刃の根元まで確実に差し込んでください。ホコリが付着したり、接続が不完全な場合は感電・火災の原因になります。いたんだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。</p> 	<p>電源コードを破損したり加工したりしない</p> <p>電源コードは、束ねたり、引っ張ったり、重いものを載せたり、加熱したり、加工したりしないでください。電源コードが破損する原因になります。いたんだまま使用すると感電・火災の原因になります。</p>	
<p>電源コードは、途中での接続・延長コードの使用・タコ足配線をしない</p> <p>電源プラグは、必ずエアコン専用の電源コンセントに直接差し込んでください。感電・火災の原因になります。</p>	<p>異常時（こげ臭いなど）は運転を停止して電源プラグを抜く</p> <p>異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。お買いあげの販売店にご相談ください。</p>	
<p>自分で修理・移動・再設置・廃棄はしない</p> <p>不備があると火災・感電・水漏れなどの原因になります。廃棄時も危険ですので、自分で行わないでください。</p>	<p>長時間冷風をからだに直接当てたり、冷やしすぎない</p> <p>体調悪化・健康障害の原因になります。</p> 	
	<p>吹出口の1m以内にスプレー缶などを置かない</p> <p>温風によりスプレー缶などの圧力が上がり、爆発するおそれがあります。絶対にやめてください。</p>	

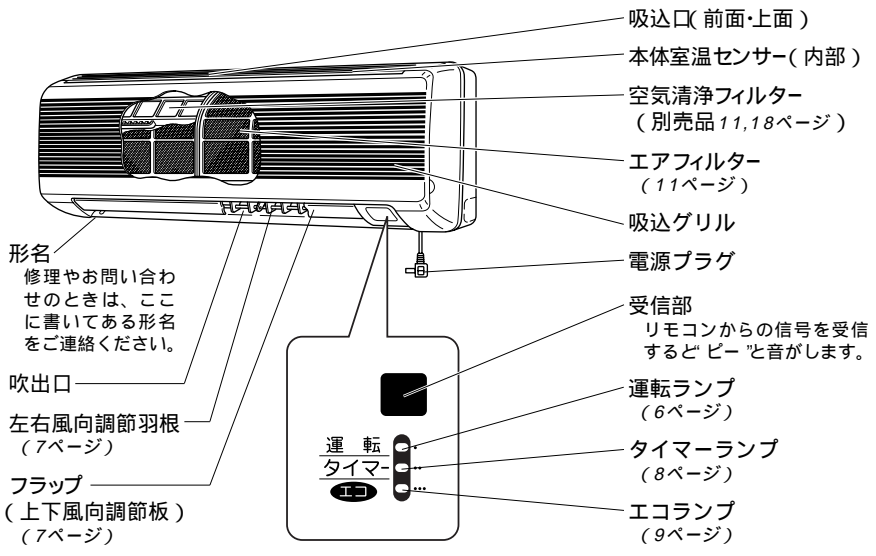
 注意		
<p>ほかの目的に使用しない</p> <p>このルームエアコンは居室用です。精密機器・食品・動植物・美術品の保存など特殊用途には絶対に、使用しないでください。思わぬトラブルの原因になることがあります。</p>		
<p>動植物には直接風を当てない</p> <p>動植物に悪影響をおよぼすことがあります。</p> 	<p>指定以外の電源を使わない</p> <p>故障・火災などの原因になります。</p>	
<p>エアコンの風が直接当たるところで燃焼器具を使わない</p> <p>燃焼器具の不完全燃焼による、一酸化炭素中毒などの原因になることがあります。</p>	<p>電源コードを引っ張ってプラグを抜かない</p> <p>必ず電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張ると芯線の一部が断線して、発熱・発火の原因になることがあります。</p>	
<p>燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに換気をする</p> <p>換気が不十分な場合は、酸素不足の原因になることがあります。</p>	<p>長期間使用しない場合、安全のため電源プラグを抜く</p> <p>電源プラグにホコリがたまって、発熱・発火の原因になることがあります。</p>	
<p>エアコンを水洗いしたり、花びんなど水の入った容器を載せない</p> <p>故障・感電・火災の原因になることがあります。</p>	<p>ぬれた手でスイッチを操作しない</p> <p>感電の原因になることがあります。</p> 	
<p>ユニットに乗らない・ものを載せない</p> <p>落下・転倒などにより、ケガの原因になることがあります。</p>	<p>エアコンを掃除するときは運転を停止し、電源プラグを抜く</p> <p>内部でファンが高速回転しているため、ケガの原因になることがありますのでファン停止を確認してください。</p>	
<p>室内ユニットの下に、ほかの電気製品などを置かない</p> <p>水滴が滴下することがあり、故障・感電の原因になることがあります。</p>	<p>据え台がいたんだまま放置しない</p> <p>室外ユニットの落下につながり、ケガなどの原因になることがあります。</p>	

据え付け上の注意事項	
 警告	
<p>自分で据え付けはしない</p> <p>不備があると故障、水漏れや感電、火災の原因になります。お買いあげの販売店または専門業者にご依頼ください。</p> 	
 注意	
<p>可燃性ガスの漏れる場所へは設置しない</p> <p>万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、爆発・火災の原因になることがあります。</p>	
	
<p>アース工事をする</p> <p>アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話などのアース線等に接続しないでください。アース工事が不完全な場合は、感電の原因になることがあります。</p> 	
<p>漏電ブレーカーを取り付ける</p> <p>設置場所によっては漏電ブレーカーの取り付けが必要です。漏電ブレーカーを取り付けていないと感電の原因になることがあります。</p>	
<p>ドレンホースは、確実に排水するように配管する</p> <p>排水工事が不確実な場合は、屋内に浸水し家財などをぬらす原因になることがあります。</p>	

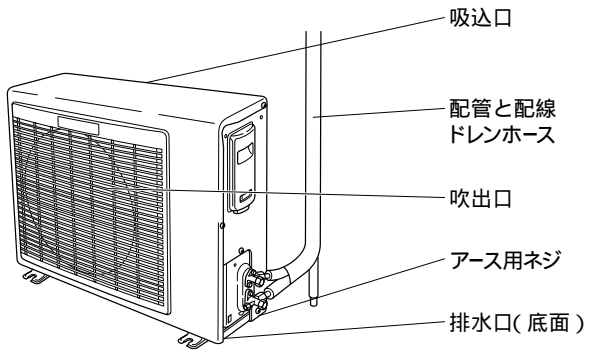
各部のなまえ

このページ以降では、リモコンのボタン名はすべて「ボタン」を省略して表示しています。
例：運転/停止ボタン **運転/停止**

室内ユニット

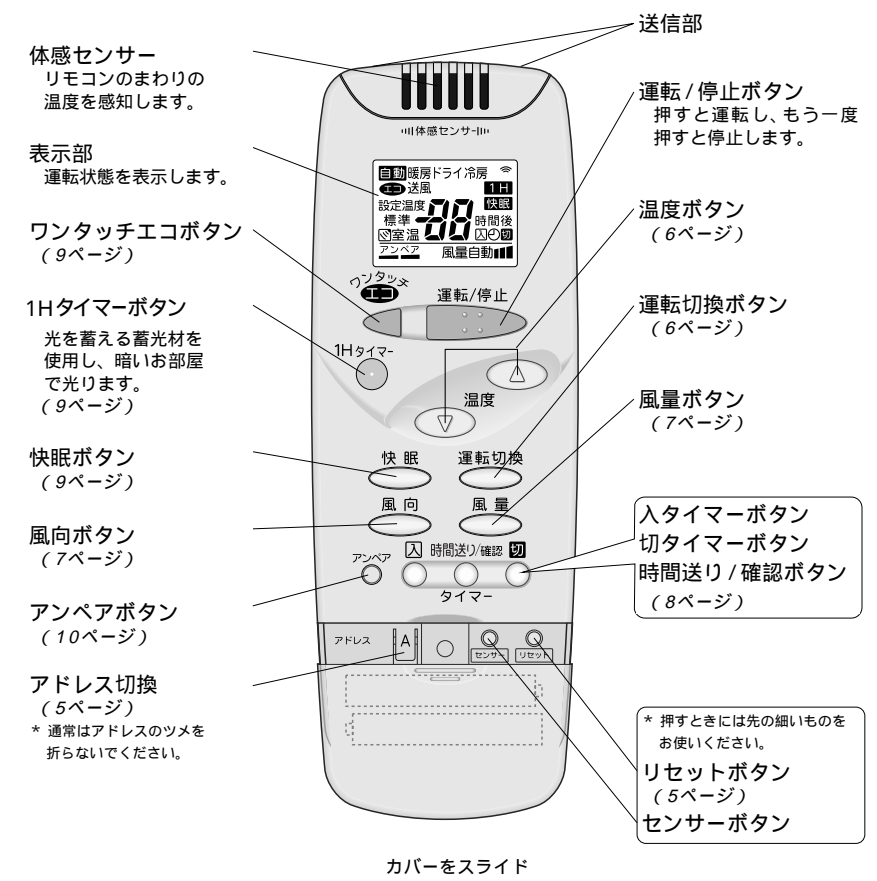


室外ユニット



リモコン

説明のため表示画面すべてを表示してあります。



センサーボタンについて

リモコンの置き場所が熱の影響(電気カーペットやストーブ、直射日光など)を受ける場合には「センサー」を押し、体感センサーから本体センサーに切り換えてご使用ください。
このとき、表示部に が表示されます。

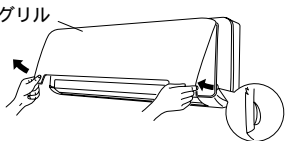
こんなとき

リモコンが見つからない。乾電池が切れたとき。
応急運転(10ページ)

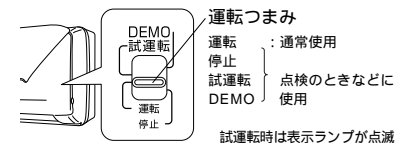
運転前の準備

室内ユニットの準備

1 吸込グリルを開ける
吸込グリルの両端を手前に引き上げると、内側に本体操作部があります。



2 運転つまみを「運転」の位置に合わせ、吸込グリルを閉じる

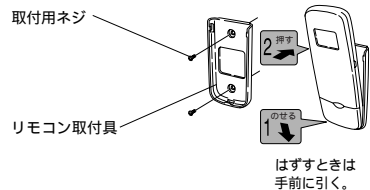


試運転時は表示ランプが点滅

3 電源プラグをコンセントに差し込む

リモコンの取り付けかた

取り付ける位置で「運転/停止」を押し、室内ユニットから「ピー」という受信音がしてエアコンが作動することを確認してから取り付けてください。



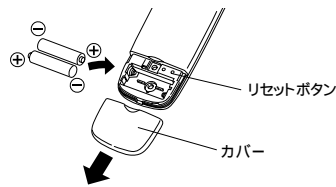
はずすときは手前に引く。

お願い

リモコンは、冷風風や日光が直接当たるところや、熱源（電気カーペットやストーブなど）の近くには置かないでください。また、電子瞬時点灯方式またはインバーター方式の蛍光灯がある部屋では、信号を受け付けられないことがあります。このような場合は、お買いあげの販売店にご相談ください。リモコンは信号が届く位置に置いてください。位置が正しくないと、タイマー・室温制御などが正しくはたらかせません。

リモコンの準備

乾電池の入れかた（単4形アルカリ乾電池2本）



1 カバーをはずす

2 乾電池を入れる
+ - の向きを正しく！

3 「リセット」を必ず押してからカバーを取り付ける
乾電池の交換時も必ず「リセット」を押してください。設定した内容は取り消されますので、設定をしておいてください。

長期間ご使用にならない場合は、乾電池を取り出してください。アルカリ乾電池の交換は、1年がめやすです。乾電池の寿命が近づくとリモコンの表示部がうすくなったり、受信距離が短くなります。このような場合は、乾電池を新しいものと交換してください。付属の乾電池はモニター用ですので、1年に満たないうちに消耗することがあります。ご使用後の乾電池は指定の場所に捨ててください。アルカリ乾電池以外は使用しないでください。誤作動する場合があります。

アドレス切換について

弊社エアコンを2台隣接設置するときに切り換えると、リモコンの混信を防止します。通常はAにセットしていますので、アドレス切換が必要な場合は、お買いあげの販売店にご相談ください。

お願い

通常はリモコンのツメを折らないでください。

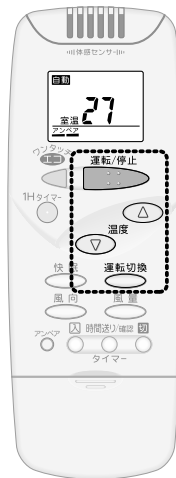
自動/暖房/ドライ/冷房/送風運転

自動運転

エアコンがそのお部屋の状況に合った運転の種類を自動的に選び、温度・風量・風向きを自動調節し、運転します。

暖房/ドライ/冷房/送風運転

おこのみの運転内容に設定されます。また、その内容はエアコンに記憶され、次回運転の際も有効です。



1 運転の種類を選ぶ

運転切換

「運転切換」を押すごとに順次運転の種類が変わっていきます。

自動 → 暖房 → ドライ → 冷房 → 送風

2 運転する

運転/停止

「運転/停止」を押してください。

運転を停止するときはもう一度、「運転/停止」を押してください。

温度調節

設定温度を変えたいとき

運転中に「温度」を押す



押すごとに1 ずつ変化します。

自動運転

設定温度 標準 +1
アンペア 風量自動

標準温度から+4（高め）から-4（低め）の範囲で変更できます。

暖房/ドライ/冷房

設定温度 26
アンペア 風量自動

設定できる温度は16から30 までです。（設定温度によっては、外気や室温の温度条件などからエアコン内部の保護がはたらき、希望の温度にならない場合があります。）

健康サイン

温度の上げすぎ、下げすぎ

設定温度を上げすぎたり下げすぎた場合、室内ユニットから「ピーピーピー」と音が鳴り、適切でないことをお知らせします。

お願い

室内ユニットの運転ランプが点灯
暖房運転.....赤色
ドライ運転.....橙色
冷房運転.....緑色
送風運転.....緑色

お願い

送風運転では設定温度の変更はできません。

変更後、自動的に室温表示にもどりませんが、変更温度は運転停止後も記憶されています。

室温表示範囲

5 - 35
(5 以下は5、35 以上は35 となります。)

風向・風量を調節したいとき
(7ページ)

お願い

自動運転時の初期設定温度

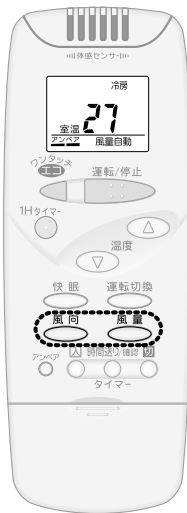
運転の種類	設定温度(標準)
暖房	24
ドライ	運転開始の温度 (20 - 26 の範囲)
冷房	27

くわしい説明
(16ページ)

運転切換
自動運転
送風運転
ドライ運転

風向調節 / 風量調節

暖気・冷気のかたよりを調節できます。

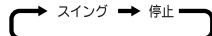


風向調節

上下の風向きを変えたいとき

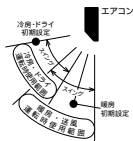
運転中に「風向」を押す

押すごとにつぎのように切り換わります。



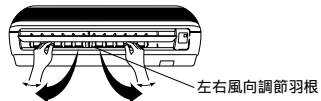
スイング : 上下に連続的に動きます。
停止 : 「風向」を押したときの位置でフラップが止まります。

フラップ使用範囲
(参考)



左右の風向きを変えたいとき

吹出口にある左右風向調節羽根を手で左右に調節します。羽根は左右2分割されていますので、両端から3番目の羽根をそれぞれ持って行ってください。



風量調節

風量を変えたいとき

運転中に「風量」を押す

押すごとにつぎのように切り換わります。



お願い

フラップは、必ずリモコンで操作してください。手で直接操作すると、フラップがリモコンの設定位置とずれる場合があります。正常にもどすには、リモコンでいったん運転を停止させ、フラップが閉じてから再運転をしてください。左右風向調節羽根を調節する場合は、フラップのスイングを止めてください。手をはさまれるおそれがあります。冷房・ドライ運転時、つゆどきなどの湿度の高いときに左右風向調節羽根を大きく左右に曲げて使用すると吹出口付近に露が付着したり、滴下することがあります。左右風向調節羽根をまっすぐの位置にしてください。



風向設定は前回の位置を記憶しています。

運転を停止すると、フラップは閉じます。

冷房・ドライの初期設定位置は水平ではなく若干下向きになります。

風向を初期設定の位置にするには、「運転切換」を押し、その後もとの運転にもどしてください。

フラップの位置は、それぞれの運転時使用範囲でご使用ください。

冷風防止機能がはたらいているときは、フラップは冷房・ドライ初期設定の位置になります。風向の変更はできません。温度が高くなると変更できます。



暖房運転開始時、冷風防止機能がはたらいている場合は、風量の変更はできません。

暖房運転時、室温が設定温度達成後、熱交換器温度が低いときには、冷風防止機能により風量の変更はできません。

「自動」は風量が自動的に切り換わります。

風向・風量調節について

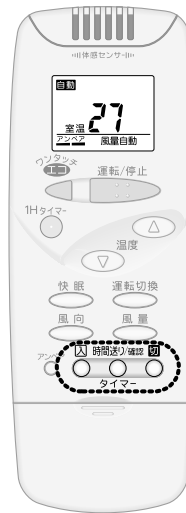
「運転切換」を押すと風量は自動、風向は初期設定になります。

入タイマー・切タイマー

12時間の範囲で、おこのみの時間に運転を開始または停止できる機能です。

入タイマー（快適予約）設定した時間にご希望の温度に近づけるように、自動的に運転を開始します。（最大60分前から風量「弱」で運転します。）

切タイマー設定した時間に運転を停止します。



タイマー予約をする

「入タイマー」または「切タイマー」を押してください。表示部が予約時間表示になります。

入タイマー表示

切タイマー表示



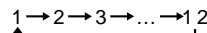
予約後、自動的に室温表示にもどり、設定が終了します。

予約の変更・確認・取り消し

予約時間を変更したいとき

「時間送り/確認」を押して時間を変更する

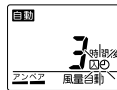
押すごとに1時間単位で表示



変更後、「」または「」の点滅が点灯に変わり、自動的に室温表示にもどります。

【例】入タイマーを3時間後に設定したい場合

「時間送り/確認」を押して「3」にする



予約時間を確認したいとき

「時間送り/確認」を押す

残時間表示になります。

約15秒後に「」または「」の点滅が点灯に変わり、室温表示にもどります。

予約を取り消したいとき

もう一度「入タイマー」または「切タイマー」を押す



室内ユニットのタイマーランプが点灯

タイマー予約は、運転中、停止中どちらでもできます。入・切タイマーの同時予約はできません。

予約時間は、前に設定した予約時間を表示します。

タイマーについて

タイマー予約は、タイマー運転後には取り消されますので、そのつどセットしなおしてください。

タイマー予約中は、停止中でも風向・風量・設定温度の変更が可能です。

入タイマー予約中は運転を停止しても、予約を取り消さない限り、予約時間に運転を開始します。

切り忘れ防止として、入タイマー開始後、25時間以上リモコン操作がない場合には、運転を停止します。

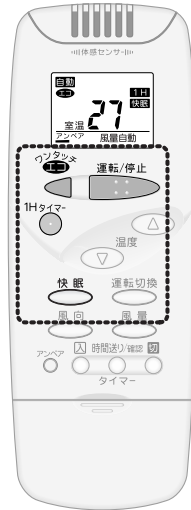
入タイマー（快適予約）ではお部屋の大きさや状態によって、設定時間までに設定温度にならないことがあります。

ワンタッチエコ/1Hタイマー運転/快眠運転

ワンタッチエコ
設定温度を固定し運転電流を下げ、地球にやさしい省エネ運転をします。(16ページ)

1Hタイマー運転
1時間だけ運転しますので、切り忘れがありません。

快眠運転
おやすみ中も快適な環境にしてくれる機能です。静かな運転音で室温をコントロールします。



ワンタッチエコ

ワンタッチエコを押す

表示部に エコが表示されます。

27

ワンタッチエコをもう一度押す

1Hタイマー運転

1Hタイマーを押す

表示部に 1Hが表示されます。

27

1Hタイマーをもう一度押す

快眠運転

運転中に 快眠を押す

表示部に 快眠が表示されます。

27

快眠をもう一度押す

室内ユニットのエコランプが点灯
設定温度はリモコンに表示されません。
送風運転ではエコランプは点灯しますが、機能しません。
風向の設定はおこのみに変更することができます。(その内容はワンタッチエコを取り消しても継続します。)
ドライ運転時は、ドライエコ運転時の室温を設定温度とします。(20 - 28 の範囲内)また、風向はエコ設定前のフラップ位置になります。
自動運転時は自動で選択されたモードの設定になります。

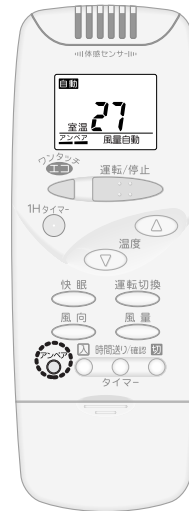
1Hタイマーで運転している途中、もう一度1Hタイマーを押すと、押した時点から1時間後に運転を停止します。
切タイマー中に1Hタイマーを押すと、1時間後に運転を停止し、切タイマーは取り消されます。
1Hタイマー運転と切タイマーは、後押し優先になります。
入タイマー中に1Hタイマーを押した場合は設定時間後に入タイマーがはたらきます。

室内ユニットの風量を自動的に下げます。
1時間後の設定温度を冷房・ドライ運転時は、1 高く、暖房時は3 (2時間後さらに4)低くします。(ドライ運転時、湿度優先のため、室温表示が合わない場合があります。)
冷房運転の場合は、フラップがスイングすることがあります。

アンペア切換 / 応急運転

アンペア切換
電気カーベットや電子レンジなど消費電力の大きい機器と併用するとき、ブレードを切れるにしておく機能です。

応急運転
リモコンが見つからないときや、乾電池が切れているときに運転できます。



アンペア切換

アンペアを押す

表示部のアンペア表示が変わります。

27

アンペアをもう一度押す

応急運転

本体の運転つまみを一度「停止」の位置にしてから、「運転」の位置にもどす

27

停止したいとき

運転つまみを「停止」の位置にする

リモコン操作にもどすとき

運転つまみを「運転」の位置にして、リモコンで操作してください。

アンペア	15A
アンペア	8A

アンペア切換について
最大運転電流を下げ、能力をおさえた経済的な運転を行います。

夏の昼間や冬の夜間など、冷暖房能力が不足し、お部屋の温度が設定温度にならない場合には「アンペア」を押し、もとの運転にしてください。

室内ユニットの運転ランプが点灯
運転の種類は自動運転になります。(6ページ)

ワンタッチエコにすると、つぎのように設定されます。

	設定温度(政府推奨)	風 向	アンペア表示
暖房運転	20	エコ設定前のフラップ位置	■■■■■■
冷房運転	28	スイング	■■■■■■

お手入れのしかた

日ごろのお手入れが、エアコンを長持ちさせるヒケツです。こまめなお手入れを心がけましょう。

お手入れの前に (掃除を業者に依頼するときは、お買いあげの販売店にご相談ください。)

エアコンを掃除するときは停止する
掃除するときは必ず運転を停止し、電源プラグも抜いてください。内部でファンが高速回転しているため、ケガの原因になることがあります。

エアコンは直接水洗いをしない
エアコンを水洗いしないでください。故障・感電・火災の原因になることがあります。

エアコン用洗浄スプレー(洗浄剤)のご使用について (15ページ)

シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉・40 以上のお湯は、使用しない
変形・変色の原因になります。室内ユニット・リモコンには、絶対に水をかけないでください。(故障や感電のおそれがあります。)

不安定な踏み台などは使用しない

エアフィルターの掃除 (2週間に1回がめやす)

- 吸込グリルを開けて、エアフィルターを取り出す
吸込グリルの両端を持って吸込グリルを手前に引き上げてから、エアフィルターをはずします。
- 掃除機をかけてから水洗いをする
水洗いした後は、日陰でよく乾かしてください。
- 「前面」と表示してあるほうを手前にしてエアフィルターを取り付け、吸込グリルを閉じる
矢印部分 ↓ を押して吸込グリルを固定します。

空気清浄フィルター(別売品)の取り付けおよび交換 (交換は3ヵ月ごとがめやす)

- 吸込グリルを開けて、エアフィルターを取り出し、空気清浄フィルターを同様に取り付けます。(枠つき空気清浄フィルターは、枠は捨てないでください。)
- エアフィルターを取り付け、吸込グリルを閉じます。(交換の場合も同様に行います。)

お願い
汚れた空気清浄フィルターは洗っても再使用はできません。お近くの販売店でご購入ください。(形名は18ページの別売品を参照) 使用済みの空気清浄フィルターは、燃えるゴミとして処理してください。

本体・リモコンのお手入れ

柔らかい布でからぶきます。

汚れがひどい場合は、布を40 以下のぬるま湯か水にひたし、よくしぼってからふいてください。リモコンはボタン類のすきまから水などが入らないようにご注意ください。吸込グリルは、取りはずして水洗いすることができます。

吸込グリルの水洗いのしかた

- 吸込グリルをはずす
吸込グリルを全開にした状態で、両手でアームを持って手前に引きまします。
- 吸込グリルを洗う
柔らかいスポンジのようなもので軽く洗い、水気を十分ふき取ってください。汚れがひどい場合は中性洗剤を使用し、その後よく水洗いをしてください。
- 吸込グリルの取り付け
吸込グリルをほぼ水平にして、アームの軸を本体のくぼみに突き当たるまで押し込み、はめ込みます。吸込グリルの両端を持って吸込グリルを閉じてから、矢印部分 ↓ を押して吸込グリルを固定します。

長期間使わないとき

暖房運転または送風運転をして、カビが生えないよう機械内部を乾燥させます。

運転を停止し、電源プラグを抜いてください。

エアフィルターを掃除し、空気清浄フィルター(ご使用の場合)の汚れ具合を点検します。

リモコンの乾電池を取り出します。

再び使い始めるとき

リモコンの乾電池を入れてください。(5ページ)

電源プラグを入れてください。

確認してください
エアフィルターと空気清浄フィルター(ご使用の場合)は付いているか。室内・室外ユニットの吹出口や吸込口をふさいでいないか。電源プラグやコンセントにホコリや汚れはないか。アース線ははずれていないか、ドレンホースの先端にゴミやホコリがつかっていないか。

エアコンを上手に使うコツ

窓にはブラインドやカーテンを
夏の日差しや冬の寒さを上手に防いで、冷暖房効果をアップ。ブラインドで約15%、カーテンでは約50%、日射量を減らすことができます。

エアフィルターはまめにお掃除を
エアフィルターが汚れると冷暖房効果が落ち、電気代が約6%ムダになります。また、異常音が発生したり、吹出口に霧が付くことがあります。2週間に1回の掃除をお忘れなく。

快適な冷房(暖房)温度で効率よく省エネを
冷房時、室温と室外の温度差は約5 以内が最適です。設定温度を1 上げると(暖房時は2 下げると)約10%も電気代が節約できます。

上手に活用 タイマー運転
タイマーを上手に使用は、電気代も節約できます。

故障かな？

修理を依頼される前に、もう一度確かめてみてください。

これは故障ではありません。	
すぐに運転しない	電源を入れた直後や再運転時、また運転中に「運転切換」を押すと、室外ユニットは約3分間運転しません。これはエアコンの故障を防ぐためです。
すぐに停止しない	暖房運転停止後、室外ユニットに付着している霜を取り除くためです。
すぐに風が出ない	冷房・ドライ運転開始時は二オキカット機能がはたらくためです。(風量自動のとき) 暖房運転開始時は冷風防止機能がはたらくためです。(15ページ)
音がする	水の流れるような音 エアコン内部の冷媒ガスが流れる音です。(シュー、チョロチョロ、ゴボゴボなど)
	ピシッという音 エアコン内部のスイッチ作動音、あるいは温度変化によって樹脂部品などが伸縮するときの音です。または、暖房運転を停止したときの熱交換器からの音です。
	プシューンという音 霜取装置がはたらいたとき発生する音です。
	コン、カチッという音 ドライ運転時、室内ユニットの切替弁が動作する音です。
いやなにおいがする	壁やじゅうたん、家具、衣類にしみこんでいるにおいがエアコン内部に付着し、運転中に強くにおうことがありますので、定期的な点検整備をおすすめします。点検整備は販売店にご相談ください。
室外ユニットから水・湯気が出る	暖房時、室外ユニットに付着した水および霜取運転で発生する湯気やつけた水が出るためです。 冷房時、パルプや配管が冷やされ霧が付着し、滴下することがあります。
風量が切り換わらない	ドライ運転時や暖房運転開始時には風量は切りかわりません。運転中に「運転切換」を押すと約3分間は微風運転となり、その後設定した風量になります。

故障かな？ (つづき)

こんなときは再度ご確認ください。

運転しない	<p>停電ではありませんか？ エアコンは停止したままです。通電後にあらためて運転操作をしておください。 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ ブレーカーまたはヒューズが切れていませんか？ リモコンの乾電池が切れていませんか？ リモコンの乾電池の+・- が逆になっていませんか？ リモコンの「リセット」は押しましたか？ 本体操作部の運転つまみが、運転以外の位置になっていませんか？</p>
よく暖まらない よく冷えない	<p>設定温度が高かった(冷房時) / 低く(暖房時) になっていませんか？ リモコンの信号は届いていますか？ (5ページ) 窓や戸が開いていませんか？ 換気扇が回っていませんか？ エアフィルター、空気清浄フィルター(ご使用の場合)は汚れていませんか？ 室外ユニットのまわりに障害物はありませんか？</p>

お買いあげの販売店にご連絡ください。

ただちに運転を停止し、電源プラグを抜いてお買いあげの販売店にご連絡ください。

運転音が異常に高くなった。
室内ユニットから水が漏れる。
架台や吊り下げなどの取付部品が腐食したりゆるんでいる。
電源コードやプラグが異常に熱い。
こげくさいにおいがする。
ブレーカーやヒューズがたびたび切れる。
運転ランプが約0.5秒ごとに点滅しているときは、保護装置が作動しています。運転を停止し、電源プラグを抜いてからお買いあげの販売店にご連絡ください。

知っておいていただきたいこと

ヒートポンプ方式エアコンについて

外気の熱を室内にくみ上げて暖房する方式です。外気温度が下がるにつれ暖房能力は低下しますが、インバーターのはたらきにより、圧縮機の回転数を上げ、その能力の低下を防いでいます。急速に室温を上げる場合や寒冷地など、とくに外気温度が低い場合には、他の暖房機器との併用をおすすめします。お部屋全体を暖める温風循環方式ですので、暖まるまでしばらく時間がかかります。

運転条件

暖房時	外気温度	約24	以下
冷房時	外気温度	約21	以上 43 以下
	部屋湿度	約21	以上 32 以下
除湿時	外気温度	約21	以上 43 以下
	部屋湿度	約15	以上 32 以下

上記以外の条件で長時間運転しますと、保護装置がはたらいて運転できないことがあります。つゆどきなど湿度の高いときに運転すると、霧が吹くことがあります。この場合は設定温度を上げてください。また、長時間冷房・ドライ運転すると、エアコンの表面に霧が付き、水滴することがあります。これは、エアコンの能力に対して大き過ぎるお部屋を運転した場合も同様です。このような場合はタオルなどでふいてください。エアフィルター、空気清浄フィルター（ご使用の場合）が汚れていると水とび、水滴の原因になりますので、ご注意ください。

こんなときは運転を停止して電源プラグを抜く

長期間使わないとき
落雷のおそれがあるとき
電気回路の焼損を防ぐためにも、雷が鳴りだしたら早めに停止し、電源プラグを抜いてください。
お手入れのとき
故障と思われるとき

冷房・ドライ運転時のニオイカット機能について

冷房・ドライ運転の風量自動で運転開始時に約40秒間、室内ファンの運転を遅らせます。また、フラップはスイングしません。これは、エアコンに付着しているいろいろなにおいが、風とともに出てくるのを軽減するためです。

暖房時の霜取機能について

室外ユニットに霜が付くと暖房能力が低下するので、自動的に霜取機能がはたらき（約2～12分間）、運転ランプが点灯したまま室内ファンが止まります。霜取りが終了すると、再度運転を開始します。霜取中に運転を停止した場合、霜取運転は継続します。霜取運転終了後、自動的に運転を停止します。

暖房運転停止時の除霜について

運転停止後、つぎの暖房運転に備えて室外ユニットに付着している霜を取り除くため、室外ユニットが運転を続けることがあります。

暖房時の高負荷防止について

温度条件や、エアフィルター・空気清浄フィルター（ご使用の場合）の目づまり具合によっては、能力をおさえた運転や室外ユニットが停止したりすることがあるため、設定温度にならない場合があります。

暖房時の冷風防止機能について

運転開始時、風量は微風運転または停止になります。吹出温度が高くなるにつれて、設定風量になります。室温が設定温度に到達し、暖房能力が少なくなったとき熱交換器温度が低いと冷風防止機能がはたらきます。

凍結防止機能について

冷房・ドライ運転時、温度条件やエアフィルター・空気清浄フィルター（ご使用の場合）の目づまり具合によっては室内ユニット内部が凍結することがあるため、事前に室内ユニットの送風と室外ユニットの運転を停止させる機能です。

エアコンのクリーニング依頼について

エアコンのクリーニングをご依頼の場合は、必ずお買いあげの販売店または三洋電機サービス（株）にご相談ください。当社推奨の洗浄剤以外のものでクリーニングすると、不具合が生じる場合があります。

エアコン用洗浄スプレー（洗浄剤）のご使用について

市販のエアコン用洗浄スプレー（洗浄剤）をご使用する場合、洗浄成分により故障の原因になることがあります。（電装部品、樹脂の割れなど）ご使用になるときは、洗浄剤メーカーにお問い合わせください。

エアコンのくわしい説明

この説明書の前の部分では、運転に必要な操作手順を中心に説明しました。それぞれの機能のよりくわしい説明を以下に解説します。

運転切換について

運転中に「運転切換」を押すと、運転が3分間停止し、その後おこりのみの運転を開始します。風量は自動に、風向は初期設定になります。

自動運転では

室内ユニットの室温センサーが、暖房・ドライ・冷房を自動的に選択します。（運転停止してから4時間以内に再運転すると、停止前と同じ設定の運転になります。）運転開始時の室温によって運転の種類と設定温度はつぎのようになります。

運転開始時の室温	運転の種類	設定温度	運転ランプ
27 以上	冷房	27	緑
22 ~ 27 未満	ドライ	運転開始時の室温により20～26の範囲に設定	橙
22 未満	暖房	24	赤

温度・風向・風量も自動的に設定されますが、風向および風量をおこりのみに応じて変えることもできます。なお風量は切り換わるまでに数秒かかります。

送風運転では

風量調節が自動の場合には風量は「弱」、フラップは暖房初期設定の位置になります。風向、風量は「風向」(風量)を押して変更できます。冬期などで他の暖房器具をご使用の場合は、お部屋の空気の循環を行いますので室温のムラが少なくなります。空気清浄フィルター（ご使用の場合）を取り付けると空気中のチリやホコリを取り除き、たばこの煙やおいを軽減します。

ドライ運転では

室温が設定温度より高い場合は、冷房運転と同じ運転を行い、設定温度に近づいてくるとドライ運転になり、室内ファンは不規則な運転を行います。また、室外ユニットは能力をおさえた運転を継続し、さらに室温が低下すると、運転・停止をくりかえします。室温が約20 未満で室外ユニットが停止した場合には、室内ファンも停止します。また室温が約15 未満では室内ファン、室外ユニットとも停止します。外気温度が低くなったときや狭い部屋などで使用すると、設定温度よりも室温が下がる場合があります。室温が設定温度より低いときでもユニットが運転する場合があります。

お願い

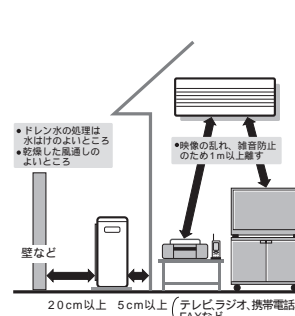
冷房・ドライ運転時にエアフィルターや空気清浄フィルター（ご使用の場合）の目づまりで霧がとんだり、凍結防止機能がはたらき場合があります。この場合はエアフィルターを掃除し、空気清浄フィルター（ご使用の場合）を交換してください。

ワンタッチエコについて

ワンタッチエコは環境保護と省エネを考慮して、設定温度を冷房は28、暖房は20の政府推奨の温度にします。能力をおさえた経済的な運転を行います。ご希望に合わない場合は、通常の運転にもどしていただけます。ワンタッチエコは1Hタイマー・快眠運転などすべての運転に併用でき、エコの設定が優先されます。（ただし快眠運転と併用時は、快眠運転の設定温度を優先します。）ワンタッチエコ中は温度の変更とアンペア切換はできません。

設置について

設置場所



電気工事

専門の技術が必要となりますので、お買いあげの販売店にご相談ください。据付工事説明書に基づいて工事をしてください。電源は定格電圧で、エアコン専用の回路をご使用ください。コンセントの工事が必要な場合は、本体のプラグに合わせて工事をしてください。設置場所によっては、漏電ブレーカーの取り付けが必要となります。アース工事は室内または室外ユニットどちらか一方で必ず行ってください。とくにインバーターエアコンは、高周波による帯電やノイズを逃がすためにも、アースが必要です。アースをとらないと電気を感じる場合があります。なお、他の機器のアースとは2m以上離し、併用はしないでください。コンセントは新しいものを使用してください。古いと電氣的接触が不十分で思わぬ事故になることがあります。電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用やタコ足配線をしてはいけません。

こんな場所は避けてください。
高周波ノイズを発生する機器のあるところ
油や水の蒸気にさらされるところ
可燃性ガスの漏れるおそれのあるところ
海浜地区など、塩分が多いところ
（耐塩害仕様機種は除く）
温泉など、硫化ガスの発生するところ
吹出風が、動植物などに直接当たるところ
室外ユニットが水平に設置できないところ
天吊り架台をご使用の場合、洗濯物を干すところの上
室内外ユニットの排水口をさまたげるところ

設置にあたっては電圧障害へのご配慮を！
室外ユニットは、テレビ、ラジオなどから3m以上離してください。
電波の弱い地域において、テレビ用の増幅器を使用しているとき、まれにテレビにノイズが入ることがあります。この場合は増幅器の位置を変えてみてください。

設置にあたっては騒音にもご配慮を！

エアコンの重量にも十分耐え、騒音や振動が増大しないようなところ、室外ユニットの吹出口からの風や騒音が隣家の迷惑にならないようなところをお選びください。吹出口近くにもものを置くと、機能低下や騒音の原因になります。

移転について

転居・増築などでエアコンを取りはずしたり、再設置する場合は、専門の技術（ポンプダウンやエアバージング）が必要となります。移転の際には、必ずお買いあげの販売店にご相談ください。他社のエアコンを弊社のものに変えるときは、配管・冷凍機油はそのまま使用しないでください。また、古い配管も使用しないでください。転居の場合、50Hz・60Hz共用ですので、そのままご使用になれます。

保守

1. 室内ユニット、リモコンアドレスの変更方法

リモコン信号が混信して不具合が生じた場合、室内ユニットA基板ジャンパー線のカットを行いリモコンのアドレスを切換えてください。

アドレス変更方法

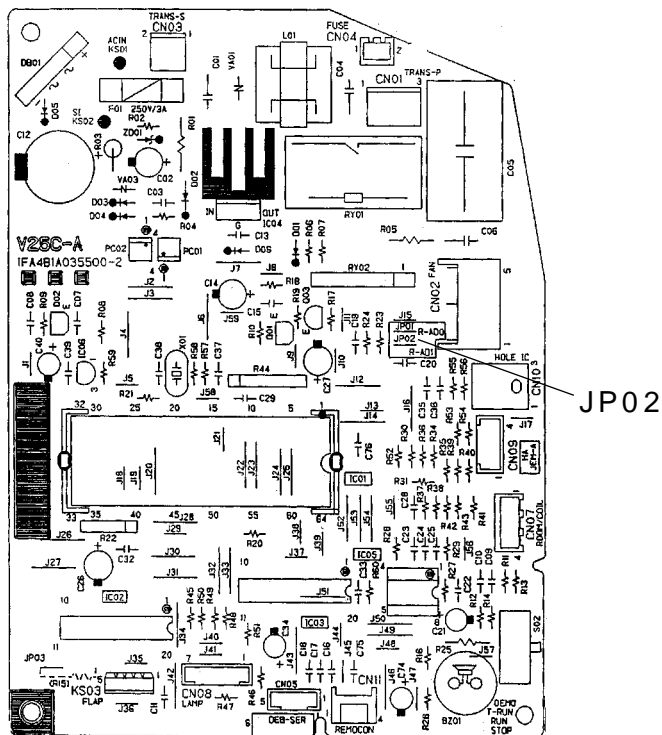
室内ユニット基板上のジャンパー線（JP02）をカットします。

リモコンのアドレススイッチをBに切換えます。

電池を挿入後リモコンのリセットボタンを押します。

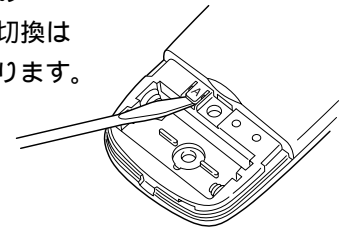
<注意>リモコンのアドレススイッチは一度変更すると元に戻りません。

室内側コントロール基板

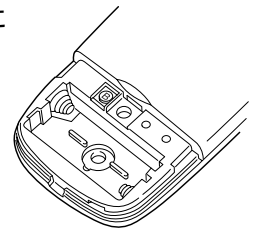


アドレス切換方法

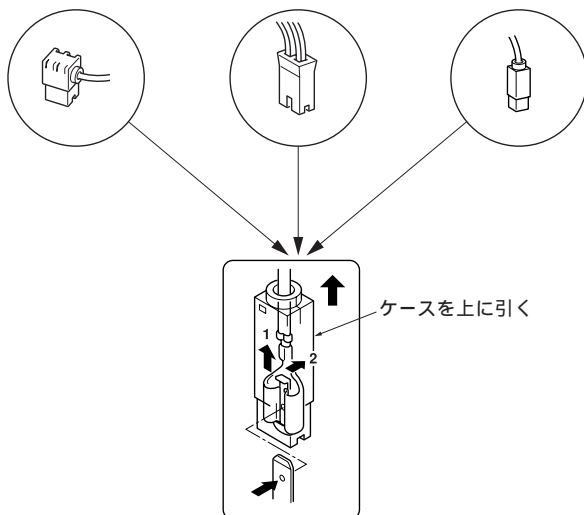
リモコンの
アドレス切換は
ツメを折ります。



ツメを折るとBに
切り換わります。



2. 室外機ポジティブ端子のはずしかた、接続のしかた



ケースを上引くと1、2の
順でロックが解除されます。

左記イラストの3種類の端子が接続されています。
構造は同じです。

はずしかた

端子の樹脂とケースを押さえ引き抜きます。
リード線を引いても内部でロックされているため、
はずれません。必ず樹脂ケースを押さえ引き抜いてください。（左図参照）

また、樹脂ケースがないものは、ロック部を2の
方向に押しながら引き抜いて下さい。

接続

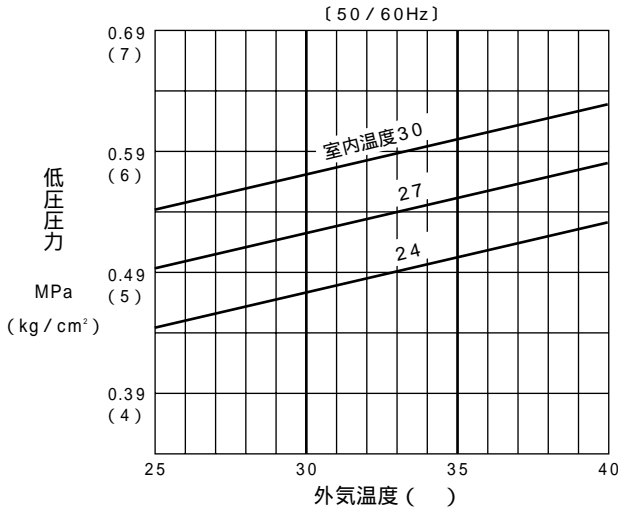
接続は、端子の樹脂ケースを押さえおし込みます。
このときカチッと音がすることを確認してください。
内部でロックがかかります。

特性

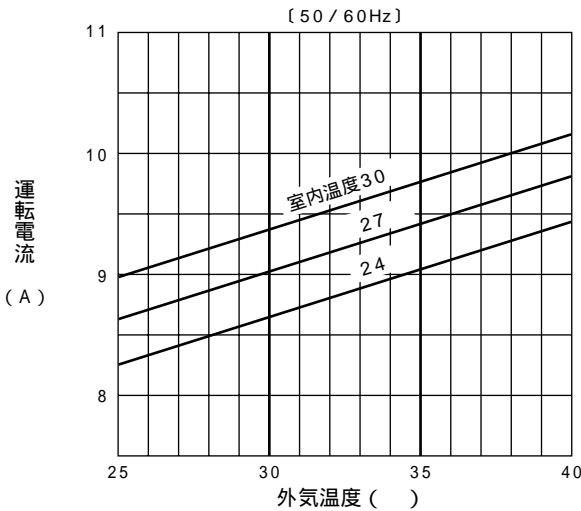
1. SAP-V22J + CV22J

冷房特性

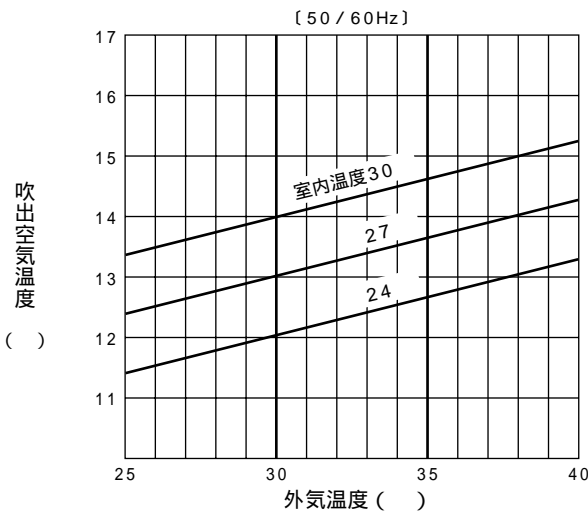
外気温度 - 室内温度に対する低圧圧力特性
(室内相対湿度：46%、室内風速：強風)



外気温度 - 室内温度に対する運転電流特性
(室内相対湿度：46%、室内風速：強風)

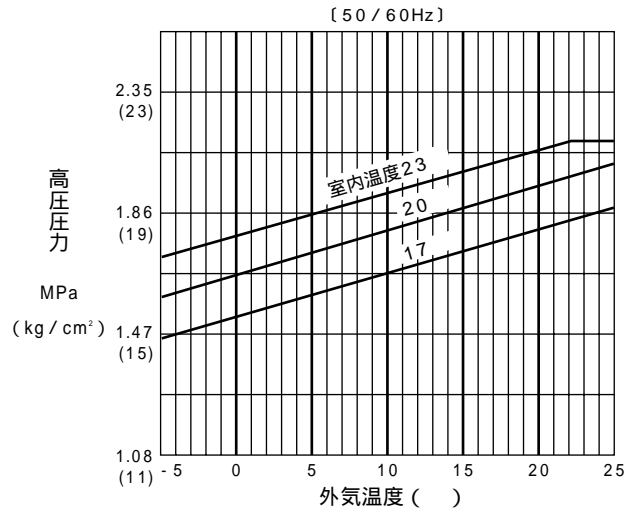


外気温度 - 室内温度に対する室内吹出空気温度特性 (室内相対湿度：46%、室内風速：強風)

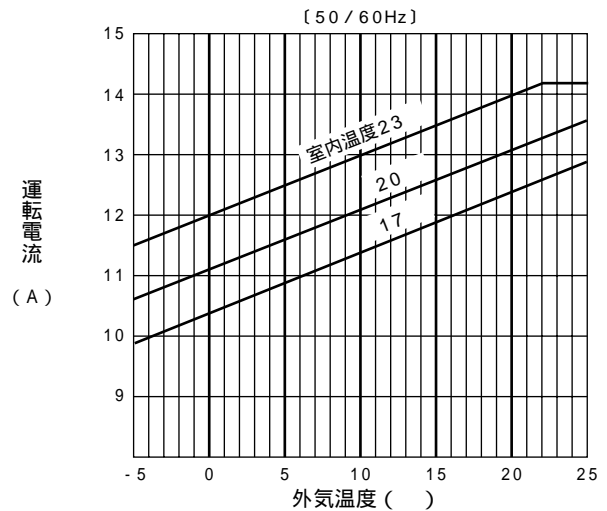


暖房特性

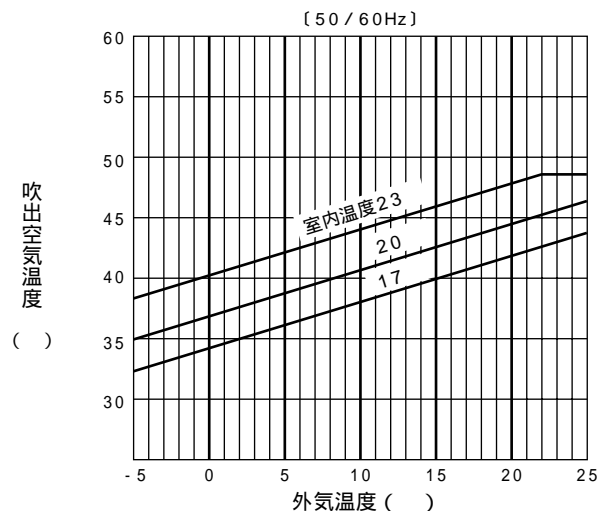
外気温度 - 室内温度に対する高圧圧力特性
(室外相対湿度：85%、室内風速：強風)



外気温度 - 室内温度に対する運転電流特性
(室外相対湿度：85%、室内風速：強風)



外気温度 - 室内温度に対する室内吹出空気温度特性 (室外相対湿度：85%、室内風速：強風)

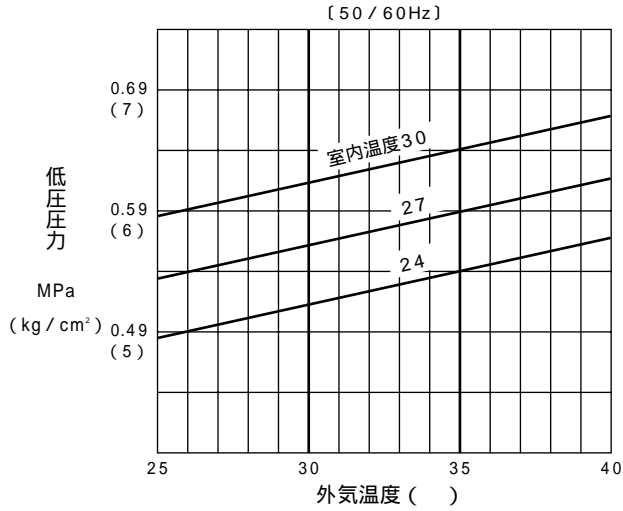


注) 各特性は試運転にして調べます。電気特性は室内、室外の総合値を示します。

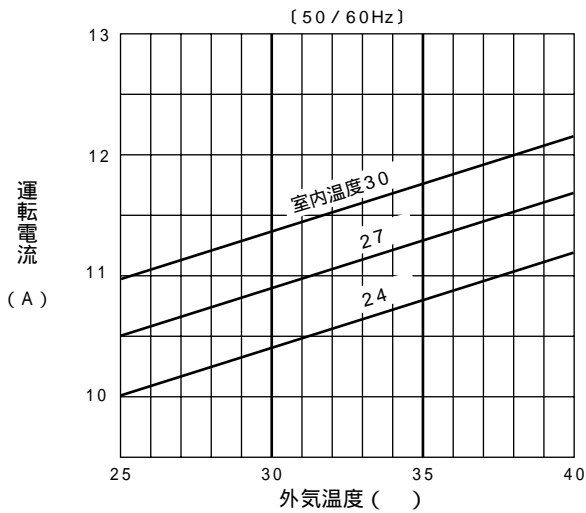
2. SAP-V25J + CV25J

冷房特性

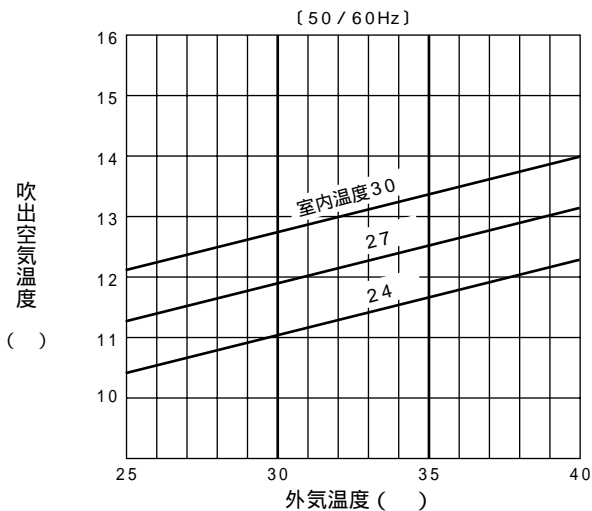
外気温度 - 室内温度に対する低圧圧力特性
(室内相対湿度：46%、室内風速：強風)



外気温度 - 室内温度に対する運転電流特性
(室内相対湿度：46%、室内風速：強風)

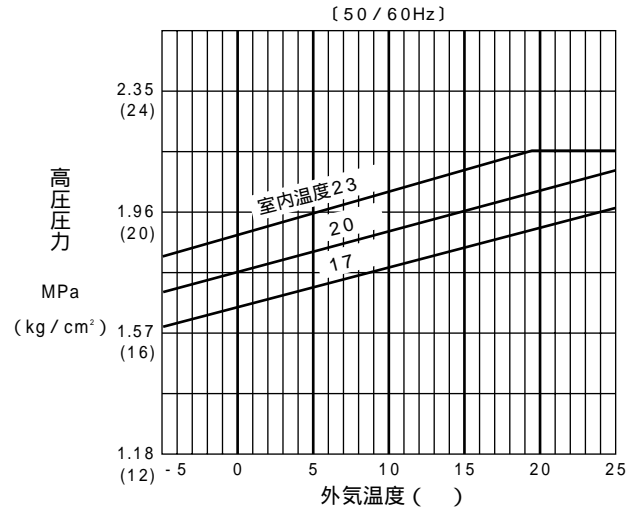


外気温度 - 室内温度に対する室内吹出空気温度特性
(室内相対湿度：46%、室内風速：強風)

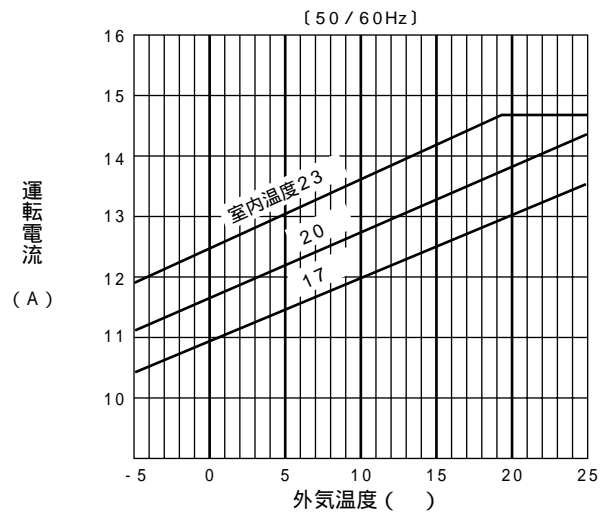


暖房特性

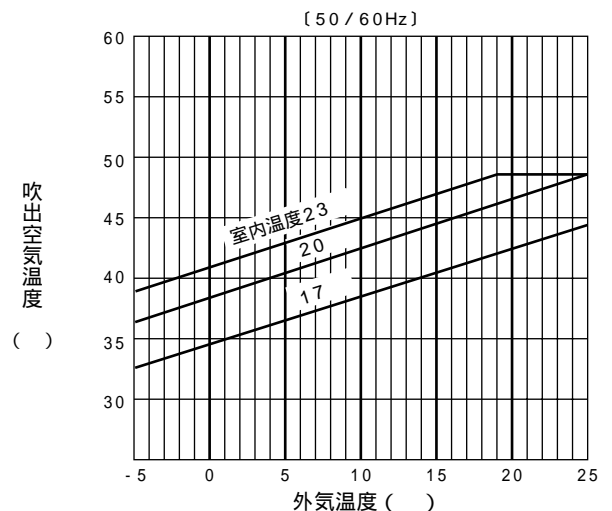
外気温度 - 室内温度に対する高圧圧力特性
(室外相対湿度：85%、室内風速：強風)



外気温度 - 室内温度に対する運転電流特性
(室外相対湿度：85%、室内風速：強風)



外気温度 - 室内温度に対する室内吹出空気温度特性
(室外相対湿度：85%、室内風速：強風)



注) 各特性は試運転にして調べます。電気特性は室内、室外の総合値を示します。

機能説明

1. 運転機能

本体操作部の機能

- 停止** : ・リモコンがない場合の停止に使用します。
(自己診断)
- ・サービス点検を行う場合に使用します。
- 運転** : ・通常運転の場合...リモコンにより運転を行います。
・応急運転の場合...リモコンがない場合に停止の位置から運転の位置に合わせると、自動運転を開始します。
- 試運転** : ・運転特性の確認の時に使用します。
・ポンプダウンの時に使用します。
(定格周波数運転をします。この時本体ランプは点滅し、リモコン信号は受けつけません。)
- DEMO** : ・店頭展示用の機能です。通常は使用しないでください。
・サービス時に使用します。

自動運転

- ・室内外ユニットの温度センサが、暖房・ドライ・冷房を自動的に選択します。(運転停止してから4時間以内に再運転すると、停止前と同じ運転になります。)

運転開始時の室温	運転の種類	設定温度(標準)
27 以上	冷房	27
22~27 未満	ドライ	運転開始時の温度 (20~26 の範囲)
22 未満	暖房	24

ランプ色

運転ランプ

- 暖房運転.....(赤)
ドライ運転.....(橙)
冷房運転.....(緑)
送風運転.....(緑)
タイマーランプ.....(緑)
エコランプ.....(緑)

アンペア切換

最大電流値制限を下げて消費電力、能力を押さえた運転を行います。

SAP-V22J	15A 8A
SAP-V25J	15A 8A

入タイマー運転

- ・入タイマー時間になると運転を開始します。
- ・入タイマーは停止中に予約・取消ができます。
予約すると、本体のタイマーランプが点灯します。

切タイマー運転

- ・切タイマー時間になると運転を停止します。
- ・切タイマーは停止中に予約・取消ができます。
予約すると、本体のタイマーランプが点灯します。

タイマーバックアップ

- ・入切時間になっても、リモコンからのタイムアップ信号を室内ユニットが受信できなかったときは、約15分以内に室内ユニットのバックアップタイマーによるタイムアップをします。

HA運転モードについて (JEM-A)

- ・HAで運転を開始した場合は、初めて運転の場合自動運転モードになります。
- ・運転中にリモコンによって運転モードを変更した場合は、変更された運転モードを次回運転開始時にも継続します。
HA端子の1 - 2間は、運転、停止用入力ピンでショートとオープンで1動作になります。

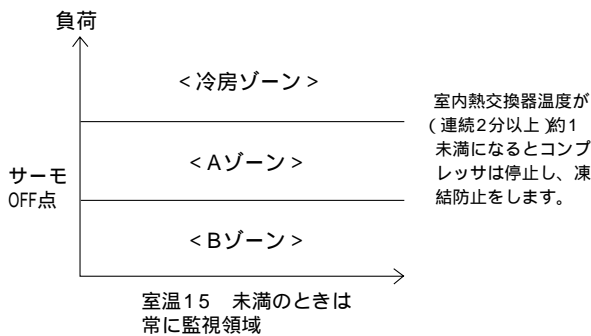
周波数制御（コンプレッサ）

自動周波数制御

自動運転中はそのときどきのお部屋の状況に応じて室温・風量・風向を調節し、お部屋を快適に保つように運転します。

<ドライ運転>

- ・ドライは下図のような運転になります。
- ・室内温度15 未満になった場合は監視運転となります。
- ・監視運転領域に入るとエアコンは運転ランプの点灯だけになります。



<ドライA>

コンプレッサは定格より低い運転周波数で連続運転します。コンプレッサ運転中は室内ファンはリズム送風をします。

<ドライB>

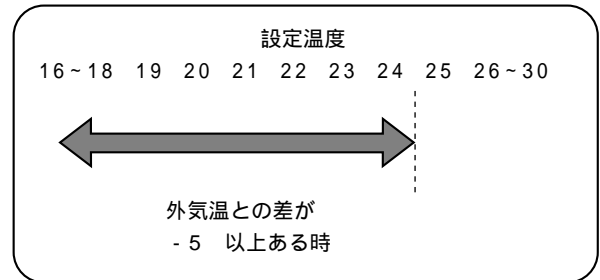
コンプレッサは低い運転周波数で3分ON、6分OFFの間欠運転をします。コンプレッサが運転中、室内ファンはリズム送風をします。コンプレッサがOFFで室温が約20 以下の場合、室内ファンもOFFします。

健康サインについて

- ・おこのみ運転時に設定する温度が下記の時に室内ユニットから“ピーピーピー”と音が鳴り設定温度が適切でないことをお知らせします。

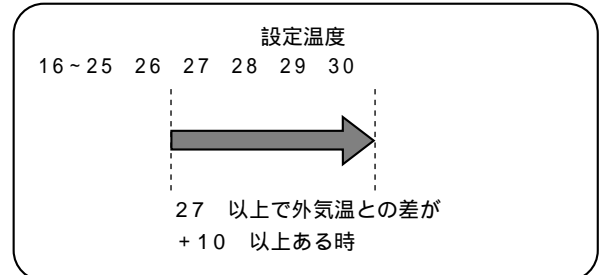
冷房／ドライ運転時

設定温度が25 以下で、かつ外気温との差が - 5 以上ある設定温度に設定した時。



暖房運転時

設定温度を27 以上でかつ外気温との差が + 10 以上ある時。



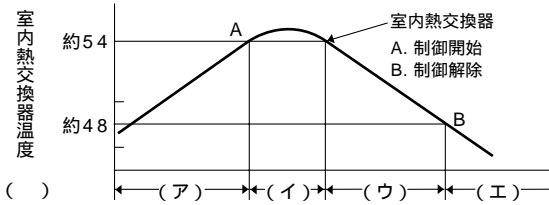
- 注意) ・上記内容は設定温度変更時のみに鳴ります。
・自動運転時、おやすみ運転時には動作しません。

ワンタッチエコについて

- ・ワンタッチエコは環境保護と省エネを考慮して、設定温度を冷房は28 、暖房は20 の政府推奨の設定温度にします。能力を抑えた経済的な運転を行います。ご希望に合わない場合は、通常の運転にもどしてください。
- ・ワンタッチエコは1Hタイマー・快眠運転などすべての運転に併用でき、エコの設定が優先されます。(ただし快眠運転と併用時、仕様が重なるときは、快眠運転が優先します。)
- ・ワンタッチエコ中は温度の変更とアンペア切換はできません。

暖房時の高負荷制御

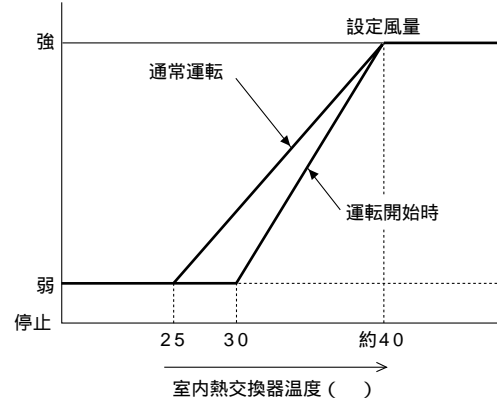
暖房運転時において、室内熱交換器温度によって、保護装置が作動する前に、周波数を制御しコンプレッサの負荷を軽減します。



- (ア) 領域...能力自動制御に従う。
- (イ) A点を超えると運転周波数をある割合で低下します。
- (ウ) 領域...周波数の上昇を禁止します。
- (エ) B点以下になると、高負荷制御が解除され、(ア)領域と同じになります。

暖房時の冷風防止

暖房運転、風量は微風または停止になります。室内熱交換器温度が高くなるにつれて、設定風量になります。



注意

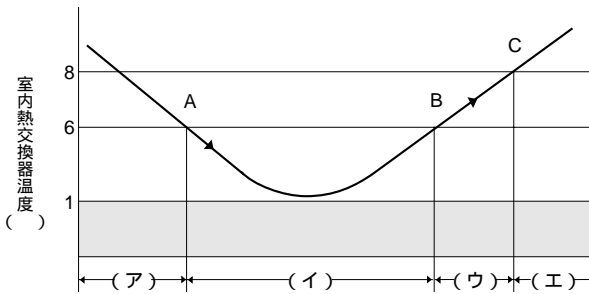
- ・サーモOFF30秒以後は、強制“微風”になります。
- ・通常運転とは、設定温度と室温が近づいたときです。
- ・暖房立上がり時、室内熱交換器温度が約20 以上になるまで室内ファンは停止しています。

凍結防止

冷房またはドライ運転中、室内熱交換器温度が下記の条件を満たした場合、凍結を検出し、運転を停止します。

室内熱交換器温度が6 未満の場合は凍結防止運転を行います。

凍結防止運転の復帰は、室内熱交換器温度が8 以上です。

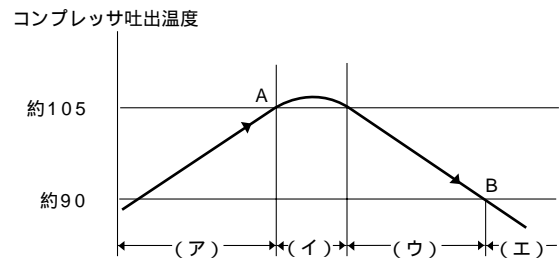


- (ア) 領域...能力自動制御に従う。
- (イ) A点より下がると運転周波数をある割合で低下させます。
- (ウ) 領域...周波数の上昇を禁止します。
- (エ) C点以上になると凍結防止は解除され、(ア)領域と同じになります。

1 未満(連続2分以上)になると、コンプレッサは停止します。
運転中、一旦凍結を検知したら停止するまで、最大周波数をおさえた運転になります。

コンプレッサ吐出温度制御

コンプレッサ吐出温度が、一定限度を超えないように周波数を制御します。



- (ア) 領域...能力自動制御に従う。
- (イ) A点より上がると運転周波数をある割合で低下させます。
- (ウ) 領域...周波数の上昇を禁止します。
- (エ) B点以下になると周波数の上昇禁止を解除し、(ア)の領域と同じになります。

ガス欠時などでコンプレッサ吐出温度が約120 以上になるとコンプレッサは停止します。

2. 保護機能

除霜検知、復帰

- ・反転除霜

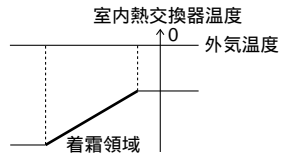
除霜シーケンス

暖房運転

- ・室外ファンON
- ・四方弁OFF

着霜検知

- ・外気温度、室外熱交換器温度、運転時間により着霜検知を行います。



反転除霜運転

- ・コンプレッサ 1分間停止後、コンプレッサON
- ・室外ファン OFF
- ・室内ファン OFF
- ・四方弁 ON

除霜復帰

- ・室外熱交換器温度は14 以上
- ・除霜運転時間は12分間（最長）
2分間停止後コンプレッサON・四方弁OFF・
室外ファンON
- ・冷風防止解除で運転ランプの点滅が点灯になる。

注意

- ・除霜中、運転を停止した場合は、除霜を継続し、終了後停止します。
着霜や外気温度の状態によっては、コンプレッサが停止しないで除霜に入る場合があります。

ピークカット自動コントロール

- ・冷、暖房負荷の増大や、電源電圧の低下等によって、運転電流が増えた場合、自動的に運転周波数を低減、または停止させ、運転電流をコントロールし、電源ブレーカ、またはヒューズが切れるのを防ぎます。
- ・電流増大の要因がなくなれば、再び元の能力に復帰します。

SAP-V22J, V25J

(A)

		冷房・ドライ	暖房
ピークカットトリップ		17.0	
Hz down	通常	14.5	14.5
	アンペア	7.5	7.5

注意 ・霜取中は冷房の電流設定値を使用します。

ブレーカーおちナイス

- ・ブレーカーおちナイスにより、コンプレッサ停止、周波数ダウン、周波数上昇禁止、通常を室内機に送信します。
(別売のブレーカーおちナイスの技術資料を参照ください。)